

各委員等の意見を踏まえた今後の検討の方向性

【新たに検討が必要な事項】

○東美濃の森林や伝統文化を活かし、創造性あふれるまちづくり

- ・工場誘致から森林を活かしたクリエイティブ産業創出（誘致）へのシフト（涌井委員、小坂氏、山田氏）
- ・研究機関のクリエイティブティに配慮したまちづくり（涌井委員、奥野氏）
- ・東美濃地域に立地する大学を知の拠点としたまちづくり（涌井委員、小坂氏、水野氏）
- ・「森の中のスタートアップ拠点（仮称）」の整備（内田委員、田代(達)氏）
- ・現行戦略を見てみると、県外から見た「住みたい岐阜県」にしていくには、どうしたらいいかという視点が必要（上手委員、青柳氏）
- ・団塊世代の活躍の場となるシニアベンチャーやバイオなどの先端科学に関する研究所誘致（奥野氏、萩本氏）
- ・リニア開業に関わらず、地域としての地力が必要（涌井委員、中村氏）

○防災や環境に配慮した安全・安心なまちづくり

- ・盛土、残土などを適切に管理するための体制の構築（真田委員、沢田氏）
- ・開発と規制のバランスが取れ、地域の発展に向けた具体的な規制や保全手法の検討（真田委員、涌井委員、岸野氏）
- ・地元を支えてきた農業、林業をキーワードとしたまちづくり（青山委員、高木氏、水野氏）
- ・コンパクトシティ、ウォークアブルなまちづくりに向けた制度の検討（青柳氏、奥野氏）
- ・環境と地域経済の好循環に向け、SDGsの実現に向けた制度の充実（真田委員、青山委員、小坂氏）
- ・カーボンニュートラルやSDGsの観点を踏まえた、企業誘致施策の転換（内田委員、田代(達)氏）

○リニア岐阜県駅及び駅周辺の「岐阜県」らしさの追求

- ・里山や栗林の中の駅に、最新の交通システムなど、岐阜ならではの、世界にひとつしかない駅（田中委員、涌井委員、内田委員、森川委員、加藤委員、真田委員）
- ・交通のハブとしての役割、市民に愛されるバスネットワーク（森川委員、田中委員）
- ・自然に囲まれ、都市型のライフスタイルの実現も可能な駅及び駅周辺整備（内田委員、谷口氏）
- ・宿場などの伝統的な古い街並みと最先端技術の粋であるリニアが停車する町としての売り出し（涌井委員、加藤氏、川端氏、山田氏）
- ・リニア岐阜県駅におけるMaaS、自動運転の取組み（森川委員、加藤氏、中村氏、林氏）

○職の選択肢の拡大や教育の充実等による地域を担う人づくり

- ・女性や若者の働きがいのある職場の確保（加藤委員、内田委員、加藤(淳)氏、田代(達)氏）
- ・移住定住の重要素となる子どもの教育環境の充実（加藤委員、村瀬委員、青柳氏、奥野氏、杉本氏、山田氏）
- ・中津川工業高校への（仮）鉄道科設置など、車両基地へ地元人材を供給する仕組みづくりの検討（上手委員、萩本氏）
- ・地域固有の農業を持続させ、それに魅力を感じた就農者の確保（真田委員、水野氏）
- ・リニア活用戦略では、まちづくりが重要であるため、地域の課題を解決できる人材やNPO等の中間支援組織の育成が必要（奥野氏、高木氏）
- ・地域一丸となって課題を解決するといった機運醸成が必要（岸野氏、馬場氏）

【現活用戦略について強化が必要な事項】

《観光振興・まちづくり》

＜観光振興＞

○観光による地域経済循環

- ・ターゲットを明確にしたリピーター、長期滞在者の確保（中津氏、古川氏、堀江氏、山田氏）
- ・観光が地域内農産物の販売促進、小売業、飲食業等への経済波及効果をもたらす仕組みづくり（真田委員、小坂氏）
- ・岐阜の宝ものの高付加価値化（呉本氏、中津氏、林氏、山田氏）

○東美濃地域内の観光資源の更なる掘り起こし、磨き上げ

- ・明知鉄道でのS L走行による「スローな観光」の実現（加藤(秀)氏、岸野氏、小坂氏、馬場氏）
- ・リニア中央新幹線（車両基地含む）の観光資源としての活用（内田委員、加藤(秀)氏、川端氏、岸野氏、田代(正)氏、萩本氏）
- ・ゴルフの町としての東美濃地域PR（岸野氏、呉本氏、富田氏、水野氏）
- ・滞在型コンテンツの掘り起こし、2ヶ所で泊り（加藤委員、加藤(淳)氏、呉本氏、水野氏）

○東美濃地域外における広域周遊観光の創出

- ・木曾地域や三河地域も含めた東美濃地域外との周遊ルートの造成（川端氏、岸野氏、田代(達)氏、谷口氏、古川氏）
- ・リニア名古屋駅、岐阜羽島駅を活用した観光商品の開発（青山委員、奥野氏、假屋崎氏、岸野氏、中村氏、古川氏）
- ・首都圏等への情報発信（加藤(秀)氏、川端氏、林氏、古川氏）

＜まちづくり＞

○移住定住人口の更なる拡大

- ・移住者や移住者採用企業への支援（加藤(秀)氏、田代(達)氏、馬場氏）
- ・Uターン環境の整備（加藤委員、田代(達)氏）

○リニアを活かす関係人口の拡大

- ・二地域居住の推進に向け、拠点間の交通費を軽減する補助制度の創設（谷口氏、馬場氏）
- ・リモートワークの普及を見据えたインフラの拡充（加藤委員、川端氏）
- ・移住者のニーズが高い古民家の空き家情報管理（川端氏、馬場氏）
- ・地域（観光・地域・農村・産業振興等）が一丸となったワーケーションの推進（田中氏、山田氏）

《産業振興》

○サテライトオフィスの県内移転・誘致に向けた環境整備

- ・子育て支援など生活者向けの支援充実（青柳氏、奥野氏、馬場氏）
- ・オフィスを作るだけでなく、企業が県内の人材を活用する仕組みづくりが重要（加藤委員、田代(達)氏）

○都市機能の一部代替を担うインフラの整備促進

- ・地震などの自然災害やパンデミックなどを見据え、強固な地盤などを有する本県の強みを活かしたバックアップ機能の誘致（奥野氏、呉本氏、田代(正)氏）
- ・バックアップ機能を正常に稼働させるためのデータセンターや、5G通信網などのインフラ整備の必要性（青柳氏、岸野氏）

○地域に根差した産業クラスターの集積、構築の推進

- ・起業に際しての大学の相談機能の強化（奥野氏、加藤(秀)氏）
- ・地域産業の育成のための公設試験場の設置（移転）（森川委員、萩本氏）
- ・航空機システム、農業、バイオ、ランドスケープデザインなどの先端科学誘致や産業クラスターの集積推進（森川委員、田中氏、萩本氏）

○車両基地の地域経済への効果波及

- ・リニア関連企業の集積や既存企業のリニア部品の受注による促進（黒田氏、田代(正)氏）

《基盤整備》

○リニア開業を契機とする交通インフラの多様化、強化

- ・濃飛横断自動車道の一層の建設推進（森川委員、林氏、堀江氏、水野氏、中村氏）
- ・国道41号の耐災害性強化（森川委員、中村氏）
- ・リニア岐阜県駅からのバスネットワーク整備（田中委員、川端氏、倉内氏）
- ・リニア岐阜県駅と産業団地までのタクシー料金の均一化（黒田氏、中村氏）
- ・カーシェアリングや相乗りタクシーなど、新たな交通手段の導入（黒田氏、谷口氏、中村氏）

○持続可能な二次交通の整備

- ・交通需要の集約を図る取組み（川端氏、高木氏、谷口氏）
- ・リニア開業後のJR東海のサービスレベル維持に向けた活動（田代(正)氏、谷口氏）
- ・地元企業や地元住民等の関係者による公共交通の維持及び利用促進に向けた取組み（川端氏、水野氏）
- ・インバウンド観光振興も目指した公共交通網の再構築（加藤委員、川端氏）

○リニア岐阜県駅の利用需要の確保

- ・パークアンドライドの充実（加藤(淳)氏、假屋崎氏、杉本氏、中村氏）

ご意見をお伺いした方々（令和3年12月24日現在）

氏名	所属・役職
青柳 みどり	国立研究開発法人国立環境研究所 主席研究員
青山 節児	中津川市長
内田 俊宏	中京大学経済学部 客員教授 ほか
奥野 信宏	（公財）名古屋まちづくり公社上席顧問 ほか
加藤 淳司	土岐市長
加藤 秀行	（株）日本政策投資銀行東海支店次長
加藤 史子	WAmazing（株） 代表取締役／CEO
仮屋崎 圭司	（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構
川端 光昭	岐阜工業高等専門学校 助教
岸野 吉晃	（一社）岐阜県観光連盟 前会長
倉内 文孝	岐阜大学工学部 教授
呉本 勝男	可児市観光協会 会長
黒田 秀樹	岐阜県タクシー協会 専務理事
小坂 喬峰	恵那市長
真田 純子	東京工業大学環境・社会理工学院 准教授
沢田 和秀	岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター長 教授
杉本 潤	中津川商工会議所 会頭
高木 朗義	岐阜大学社会システム経営学環 教授
田代 達生	（株）十六総合研究所 主任研究員
田代 正美	多治見商工会議所 会頭
田中 敦	山梨大学生命環境学部 教授
田中 一雄	株式会社 GK デザイン機構 代表取締役社長
谷口 守	筑波大学システム情報系社会工学域 教授
富田 成輝	可児市長
中津 功	（一社）日本旅行業協会中部事務局 事務局長

氏名	所属・役職
中村 紘子	（株）OKB 総研調査部 主任研究員
萩本 範文	（公財）南信州・飯田産業センター 専務理事 ほか
馬場 未織	NPO 法人南房総リパブリック 代表理事
林 直樹	（公社）岐阜県バス協会 専務理事
古川 雅典	多治見市長
堀江 幸司	岐阜県レンタカー協会 事務局長
水野 光二	瑞浪市長
森川 高行	名古屋大学未来社会創造機構 教授
山田 拓	（株）美ら地球 代表取締役

（計34名）

※五十音順・敬称略

※五十音順・敬称略